

施策	5402 歴史文化等の保護と活用						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	職員、市民						
施策が目指す姿	歴史的文化遺産の調査・研究・保存の推進、伝統芸能活動等の継承支援、地域資源としての活用策の検討等を図る。						
成果指標	文化財等件数...2022年度で306件(現状値301件) 文化財施設入館者数...2022年度で20,000人(現状値18,999人)						
目 標 達 成 状 況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標1 [件]	予定	301.00	302.00	303.00	304.00	306.00
		実績	300.00				
	成果指標2 [人]	予定	19,000.00	19,250.00	19,500.00	19,750.00	20,000.00
		実績	20,010.00				
		単位コスト	15.15				
	成果指標3 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標4 []	予定					
実績							
	単位コスト						
トータルコスト (千円)	予定	271,465	535,596	195,795	0	0	
	実績	303,168	511,789	195,795	0	0	
内 部 評 価	貢献度	適正な文化財保護行政と資料館事業が必要であるため、本単位施策の目標達成度による貢献度は高い。					
	達成状況	文化財の指定件数は新指定1件、登録有形文化財との調整で-1件で、計300件となった。					
	課題	今後、各地域の文化財を掘り起こすことや現在指定の文化財の再確認が必要であり、補助金制度の充実が必要である。					
	取組方針	指定文化財の保存・管理について計画をたて、また伝統芸能活動等の継承を支援しながら、文化財の啓発を図りたい。					
外 部 評 価	貴重な地域資源の一つである文化財を後世にしっかりと残し、伝えていくためには適切な保存・管理が重要であり、各施策は評価できる。 伝統芸能活動などについては、後継者不足などの問題があるため、市が効果的な周知を行うなど、継承されるよう期待する。						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	525901	伝建地区拠点施設整備事業費				128,994	100
	575101	文化財施設共通管理費				16,361	100
	576601	栃木市史料調査研究事業費				3,300	100
	577302	おおひら歴史民俗資料館管理委託事業費				25,446	100
	578001	伝統的建造物群保存事業費				67,981	100
	585806	岩舟石の資料館管理運営費				1,014	100
	719601	文化財補助金				1,455	100
	722401	市内遺跡調査事業費				11,249	100
	751901	星野遺跡記念館リニューアル事業費				8,621	100
752001	ふるさとの城郭群再発見事業費				8,530	100	

単位施策評価表 補表

施策	5402 歴史文化等の保護と活用		
区分	妥当性	妥当	歴史文化の保護と活用を図ることにおいて、職員・市民を対象とし、目的等も妥当である。
	コスト削減の余地	無	公共施設再編に伴い、施設統合等によりコストが削減できる可能性がある。
	受益者負担	適正	施設利用者には妥当な受益者負担を求めており、適正である。
	上位貢献度	有効	適切な文化財保護行政と資料館事業が必要なことから貢献度は有効である。
	類似事業の有無	無	他に類する事業での代替は困難である。
	成果向上の余地	有	文化財の掘り起こしや指定文化財の再確認作業、補助金制度の充実について検討の余地がある。
内部評価	貢献度	文化財の保有者や伝承者の満足度を向上させるためには、保管方法の助言や補助金の支出、無形文化財の発表の場の確保などを含めた適切な文化財保護行政と資料館事業が必要であり、本単位施策内の個々の事務事業の貢献度は高いと判断した。	
	達成状況	文化財の指定件数は300件となっている。今後も所有者への保存に関する助言等を継続して行い、適切な管理に努めたい。文化財施設入館者数は、施設が増加したことを受けて、トータルの入館者数が増加している。	
	課題	文化財等指定件数増加のためには、今後、各地域の未確認の文化財を掘り起こすことや、現在指定の文化財の再確認作業が必要である。	
	取組方針	各地域の未確認の文化財の掘り起こしを実施していくとともに、文化資源の有効活用につなげていく。現在指定済みの文化財の管理については、計画をたてて実施していく。	